

2021年に西播磨地域で採集・撮影した注目すべき蛾類の記録

高橋弘樹¹⁾

はじめに

筆者が2021年に兵庫県西播磨地域⁽¹⁾で行ったライトトラップ及び夜間の外灯、樹木、構造物等のルッキングにおいて採集・撮影した蛾類のうち、兵庫県内での記録が少ないか、一般に少ないと思われるものについて報告する。筆者採集・撮影のものは氏名を省略している。

期間内の調査日数はライトトラップが73日、夜間ルッキングが前者と重複する日を含め220日である⁽²⁾。ライトトラップについてはHIDサーチライト55w 1灯を使用したもので、晩秋～早春にはLEDブラックライト20w 1灯を併用している。

なお、サザナミフユナミシャクについては報告済み(高橋, 2021)のため発見時の状況などは省略する。

各種資料

1. ウスベニトガリバ *Monothyatira pryeri* (Butler, 1881) (図1)

3月19日、上郡町の溪谷沿いでライトトラップを行ったところ、薄紅色が美しい羽化直後と思われる本種1頭が白幕の奥の地面に止まっているのを発見し、採集した。ライト点灯は18時40分頃、発見時刻は20時41分だった。

また一週間後に同地で実施したライトトラップは21時前の点灯となったが、その直後、21時10分に1頭が飛来したので採集した。

本種の発生時期は3月下旬～5月、食樹はミズキ、分布は本州・四国・九州(岸田, 2020)となっている。

本県では高島(1999)が「これまで産地が見つかっていなかったが著者は大屋町(養父市)で採集している。西播北部から但馬にかけての山地帯には広く分布するものと思われる。」と報告しているが、その際の2頭以外の記録は見つけられなかった。

【採集記録】 1ex., 兵庫県赤穂郡上郡町金出地, 19. III. 2021.; 1ex., 同地, 26. III. 2021.

2. トガリスジグロエダシャク *Heterarmia dissimilis* (Staudinger, 1897) (図2)

6月20日～21日にかけて宍粟市一宮町の林間キャンプ場「ろくろしの森キャンプ場」で採集を行った。その際のライトトラップで特徴的な外横線を持つシャクガを撮影しており、本種であることを確認した。撮影時刻は0時8分である。

本種は年1化で5～6月に出現。産地は限られており個体数も少ない。中国地方で比較的多くの産地が知られている(岸田, 2011)。本県では1955～56年にかけて柏原(丹波市)で得られた4頭分の記録(山本, 1997)しか見つけられなかった。

【撮影記録】 1ex., 兵庫県宍粟市一宮町東公文, 21. VI. 2021.

3. マエモンオオナミシャク *Triphosa sericata sericata* (Butler, 1879) (図3)

相生市羅漢の里公園内の外灯に照らされた小屋の遮光シートに、12月に見られるものにしては大きな蛾が止まっているのを発見し、採集したところ本種だった。

本種は夏に羽化し、洞穴などに入って越冬、越冬し、翌春外に出て交尾産卵すると思われるが、8月に洞穴内で交尾中の個体が観察されたこともある(杉, 1987)。

県内では養父市(松尾, 2020)で記録されている。

【採集記録】 1ex., 兵庫県相生市矢野町瓜生, 6. XII. 2021.

4. サザナミフユナミシャク *Operophtera japonaria* (Leech, 1891)

本誌で報告済み(高橋, 2021)だが、局地的な分布をしている種(中島・小林, 2017)であるため再掲する。

なお、2021年秋～2022年春には発見できなかった

【採集記録】 1♂, 兵庫県相生市ひかりが丘, 3. I. 2021.

5. メンガタスズメ *Acherontia styx* (Westwood, 1847) (図4)

県内のほぼ全域から記録されているが、近年の記録が激減しているおり、県内での記録全35例のうち、2000年代以降の記録はわずか4例しかない種で、食草

¹⁾ Hiroki TAKAHASHI 兵庫県相生市

はナス科 (ナス, トマト, ジャガイモなど), ゴマ科 (ゴマ) である (池田・阪上, 2020).

たつの市新宮町光都3丁目でライトトラップを行ったところ, 22時46分に本種が舞い降りるように飛来し, そのまま地面に静止したので撮影した. 採集地から谷伝い約500m下流には民家があり, その間には耕作地もあるため, その周辺で発生している可能性も考えられる. なお, 当然のことであるが, ライトトラップの際は民家や耕作地への迷惑がないよう, 細心の注意を払っている.

【撮影記録】 1ex., 兵庫県たつの市新宮町光都, 26.VII.2021.

6. フリツツエホウジャク *Macroglossum fritzei* Rothschild et Jordan, 1903 (図5)

7月2日21時33分, 上郡町の溪谷沿いに設置したライトトラップに1頭のホウジャク類が飛来した. 激しく擦れた個体だったのでぞんざいに撮影したのだが, 翌日, 阪上洸多氏に写真を確認していただき本種であることが判明した.

本種は本州 (静岡県以西) ~ 南西諸島に分布し, 幼虫はコンロンカ, ヤエヤマアオキ, ヘクソカズラを食べる (岸田, 2020) が, 県内からは姫路市と佐用町の2個体しか採集されておらず, 偶産個体である可能性が高い (池田・阪上, 2020) とのことである.

撮影の8日後と11日後にも同地でライトトラップを行ったが飛来は無かった.

【撮影記録】 1ex., 兵庫県赤穂郡上郡町金出地, 2.VII.2021.

7. ツクシアオリング *Hylophilodes tsukusensis* Nagano, 1918 (図6)

兵庫県版RDB(兵庫県, 2012)では「県内では局地的で個体数も少ない」としてCランクに位置付けられており, 川西市, 上郡町, 相生市で記録されている. (高島, 1998)

筆者は上記の記録と同じ相生市羅漢の里公園内の外灯で, 5月~6月に連日1~2頭, 延べ15頭を確認した. 内訳は5月5日~13日に7頭 (飛来日数6日), 5月30日~6月15日に6頭 (飛来日数5日), 6月25日と28日に1頭ずつである. 公園内で本種が観察された外灯は1か所のみで, それ以外の場所ではたつの市新宮町光都2丁目でのライトトラップに1頭が飛来したのみだった.

【採集, 撮影記録】 (相生市での撮影のみの記録は省略する)

1♂, 兵庫県相生市矢野町瓜生, 28.VI.2021.; 1ex., 兵庫県たつの市新宮町光都, 28.VII.2021.

8. シンジュキノカワガ *Eligma narcissus narcissus* (Cramer, 1775) (図7)

8月21日, たつの市新宮町光都1丁目で佐用町昆虫

館キッズスタッフの三村剣義氏, 石川栞奈, 元貴, 大馳氏と両家のご両親とともにライトトラップを行った際に, 子どもたちが設営場所から50mほど離れたニワウルシの若木の藪でビワハゴロモ科の外来種シタバニハゴロモを発見 (高橋, 2022) したため, 全員がライトトラップそっちのけで捜索を行っていたところ, 同じ藪の中で黄色と黒の派手な毛虫を発見した. スマートフォンによる検索でシンジュキノカワガの幼虫であると分かったため, 懐中電灯を頼りに合計6頭を採集し各家2頭ずつ持ち帰った. 筆者は翌22日昼にも同所で2頭を採集して計4頭を飼育した.

持ち帰った幼虫は終齢で, ニワウルシの葉を削り取る行動をしていたためペフ板や食品トレーの破片を入れたところ, 24日までには全個体が破片や葉を台座とした繭を形成した. その後9月6日~8日にかけて3家で6頭が相次いで羽化した.

本種の本県での成虫の記録はそこそこある (坪田・高橋, 2021 など) が, 幼虫の記録はあまり多くなく柏原(丹波市) (山本・和田, 1950), 伊丹市 (安達, 2010), 西宮市 (石川, 2017) しか見つけられなかった.

なお, 飼育個体の羽化の前後に数回, 採集地でのライトトラップを実施したが, 成虫の飛来は無かった.

採集地のニワウルシの若木は2022年1月以前に全て伐採されている.

【採集記録 (幼虫)】 6exs., 兵庫県たつの市新宮町光都, 21.VIII.2021. 三村, 石川, 高橋.; 2exs., 同地, 22.VIII.2021.

9. ヨシノククルマコヤガ *Oruza yoshinoensis* (Wileman, 1911) (図8)

6月に相生市の外灯, 8月に上郡町のライトトラップに飛来したものを撮影した.

兵庫県版RDB(兵庫県, 2012)によると本種は暖地の照葉樹林に生息し, 生態の詳細は不明. 成虫は4月~8月に見られる. 産地は限られ個体数は少ないとのことである.

県下では川西市, 洲本市, 南淡町 (南あわじ市) で記録があり (高島, 2003), インターネット上の「YAMKEMの明石の蛾達」には明石公園で撮影された画像が掲載されている.

【撮影記録】 1ex., 兵庫県相生市矢野町瓜生, 25.VI.2021.; 1ex., 兵庫県上郡町金出地, 10.VIII.2021.

10. シーモンアツバ *Sinarella c-album* Owada, 1992 (図9)

ヤガ科クルマアツバ亜科に属する小さな蛾だが, 金色の帯と純白のC字形の紋を持つ美しい種で, 三重県RDB(三重県, 2015)に「全国的にまれな希少種. 生活史は不明」とある.

筆者は2021年4月, 7月, 9月に上郡町でのライトトラップ, 7月に相生市の外灯に飛来した本種を撮影, 採集している. また5月15日の昼間には佐用町昆虫館付近の杉林林縁のスイーピングで擦れた本種を確認している. (撮影せず.)

4月と7月のものはいずれも新鮮な個体であったことから, 本県では少なくとも2化していると考えられる.

【採集, 撮影記録】 1ex., 兵庫県赤穂郡上郡町金出地, 24. IV .2021.; 1ex., 同地, 13. VII .2021.; 同地, 11. IX .2021.; 1ex., 兵庫県相生市矢野町瓜生, 15. VII .2021.

11. サヌキキリガ *Elwesia sugii* Yoshimoto, 1994 (図10)

相生市でフユシヤク類の♀を捜索中, 外灯近くの杭に静止する擦れた本種を発見し採集した.

本種は暖地性のキリガ類の中でも特に局地性が強く希少な種(兵庫県, 2012)で, 神戸市(八木, 1998; 阪上ら, 2009; 小林, 2016), 宝塚市(安達, 2008), 川西市, 相生市三濃山(高島, 2001)から報告されている.

【採集記録】 1♀, 兵庫県相生市矢野町瓜生, 7. XII .2021.

12. ムラサキミツボシキリガ *Eupsilia unipuncta* Scriba, 1919 (図11)

音水湖畔でのライトトラップに飛来したものを採集した. 飛来時刻は21時13分であった.

本種の生息地はやや局所的であり, 自然度の高い谷間で得られることが多い(小林, 2016)とのことで, 県下では波賀町(宍粟市)引原, 安富町(姫路市)(高島, 2001), 宝塚市(安達, 2008; 宇野, 2021)で得られている.

【採集記録】 1ex., 兵庫県宍粟市波賀町鹿伏, 30. X .2021.

13. ドロキリガ *Ipimorpha subtusa* (Denis & Schiffermüller, 1775) (図12)

音水湖畔でのライトトラップに飛来したものを撮影した. 撮影時刻は19時44分となっている.

本種は北海道, 本州(中部地方以北, 鳥取県)に分布し, 出現期は7~9月, 食樹はドロヤナギである.(岸田, 2020)

本県では香美町(阪上ほか, 2020), 朝来市, 養父市(坪田, 2021)で記録されている.

【撮影記録】 1ex., 兵庫県宍粟市波賀町鹿伏, 2. X .2021.

14. カギモンキリガ *Orthosia nigromaculata* (Höne, 1917) (図13)

相生市の外灯で4月7日, 13日, 24日に採集, 撮影した. 同地では15日に2exs., 16日と23日に1exを確認したが撮影はしていない. なお, 13日と16日は温暖な小雨だった.

県内では淡路地域以外は局地的で少ないようで(高島, 2000b), 兵庫県版RDB(兵庫県, 2012)の分布記録は神戸市, 川西市, 佐用町, 洲本市, 南あわじ市, 淡路市となっており, それ以降では西宮市(宇野, 2021)で記録されている.

【採集, 撮影記録】 1♀, 兵庫県相生市矢野町瓜生, 7. IV .2021.; 1♀, 同地, 13. IV .2021.; 1ex, 同地, 24. IV .2021. 三村剣義.

15. ハイイロモクメヨトウ *Antha grata* (Butler, 1881) (図14)

東北地方から九州にかけて分布し, 主として内陸部に産するが局所的であるとされる(高島, 2002). 県下では猪名川町と三日月町(佐用町)(高島, 2002; 川副, 1987), 市川町(坪田, 2021)で記録されており, インターネット上の「北河内昆虫記」には姫路市安富町で撮影された画像が掲載されている.

筆者は2021年8月2日, ライトトラップに飛来したものを採集した. 採集地であるたつの市新宮町光都1丁目と, 記録のある佐用町下本郷の高蔵寺の直線距離は4.3km程度である.

【採集記録】 1ex., 兵庫県たつの市新宮町光都, 2. VIII .2021.

16. ウスアカヤガ *Diarsia albipennis* (Butler, 1889) (図15)

たつの市新宮町光都でのライトトラップに飛来したものを撮影し, 帰宅後に同定したところ本種であった. 採集していないのが惜まれる.

本種は宮城県付近から屋久島まで分布するが, 産出はやや局地的で少ない種(高島, 2000a)であり, 県下での記録は宝塚市(高島, 2000a)と香美町(坪田・高橋, 2021)の2例のみようだ.

【撮影記録】 1ex., 兵庫県たつの市新宮町光都, 13. IX .2021.

謝辞

末筆ながら, 同定や資料の提供をお願いした阪上洗多氏, アドバイスをいただいた久保弘幸氏, 調査に同行していただいた佐用町昆虫館キッズスタッフ 三村剣義氏, 石川栞奈, 元貴, 大馳氏と両家のご両親, 内田隼人氏に御礼申し上げる.

参考文献

安達誠文, 2008. 宝塚市武庫川溪谷と西宮市甲山のキリガ相. 共生のひろば, 3: 52-59.
安達誠文, 2010. 伊丹市昆陽池で発生したシンジュキノカワガ. きべりはむし, 32(2): 7-8.
兵庫県, 2012. 兵庫の貴重な自然 兵庫県版レッドデータブック 2012(昆虫類).

- 池田大・阪上洗多, 2020. 兵庫県のスズメガ. きべりはむし, 43(2): 26-45.
- 石川佳史, 2017. 兵庫県西宮市でシンジュキノカワガの幼虫を採集・羽化の観察. きべりはむし, 39(2): 7-8.
- 川副昭人, 1987. 佐用郡三日月町蛾覚え書. てんとうむし, 10, 289-298.
- 岸田泰則 (編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑 I, 167pp. 学習研究社.
- 岸田泰則, 2020. 日本の蛾. 240pp. 学研プラス
- 北河内昆虫記, ハイイロモクメヨトウ, <https://osaka-insecta.sakura.ne.jp/moth/d-haiiromokumeyotou.html> (参照 2022 年 1 月 26 日).
- 小林秀紀 (編), 2016. 月刊むし・昆虫図説シリーズ 8 日本の冬夜蛾. 112pp. 有限会社むし社
- 松尾隆人, 2020. 氷ノ山・鉢伏山の注目すべき蛾類の記録. きべりはむし, 43(1): 29-35.
- 三重県, 2015. 三重県レッドデータブック 2015 ~ 三重県の絶滅の恐れのある野生生物 ~. 258pp. <https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000401553.pdf> (参照 2022 年 2 月 3 日)
- 中島秀雄・小林秀紀, 2017. 月刊むし・昆虫図説シリーズ 11 日本の冬尺蛾. 152pp. 有限会社むし社.
- 阪上洗多・船元祐亮・安達誠文・小西堯生, 2009. 須磨鉢伏山と有馬富士公園の興味深いキリガ. きべりはむし, 32(1): 49-51
- 阪上洗多・宮野昭彦・後藤聖士郎・岩下幸平・クルズスキー・淳子・間野隆裕・松井悠樹・Khine Mon Mon Kyaw・那須義次・奥尉平・富沢章・外村俊輔・屋宜禎, 2020. 兵庫県で開催した第 79 回レピドプテリストセミナー (レピゼミ) で採集された蛾. 誘蛾燈, 240: 32-40.
- 杉繁郎 (編), 1987. 日本産蛾類生態図鑑. 453pp. 講談社
- 高橋弘樹, 2021. サザナミフユナミシャクを相生市で採集. きべりはむし, 44 (1): 97
- 高橋弘樹, 2022. 兵庫県におけるシタベニハゴロモの確認記録. きべりはむし, 45 (1): 93-94
- 高島昭, 1998. 相生市三濃山麓の蛾 (2) 兵庫県産蛾類分布調査資料・10. きべりはむし, 26 (2): 59-64.
- 高島昭, 1999. 兵庫県のカギバガ科・オオカギバガ科・トガリバガ科 兵庫県産蛾類分布調査資料・14. きべりはむし, 27 (2): 61-75.
- 高島昭, 2000a. 兵庫県のモンヤガ亜科 兵庫県産蛾類分布資料・16. きべりはむし, 28(1): 77-88.
- 高島昭, 2000b. 兵庫県のヨトウガ亜科 兵庫県産蛾類分布資料・18. きべりはむし, 28(2): 59-76.
- 高島昭, 2001. 兵庫県のセダカモクメ亜科 兵庫県産蛾類分布資料・20. きべりはむし, 29(1): 34-49.
- 高島昭, 2002. 兵庫県のカラスヨトウ亜科 (その 2) 兵庫県産蛾類分布資料・26. きべりはむし, 30(2): 32-43.
- 高島昭, 2003. 兵庫県のコヤガ科 兵庫県産蛾類分布調査資料・28. きべりはむし, 31 (1): 81-95.
- 坪田瑛, 2021. 兵庫県で報告の少ないヤガ科について. きべりはむし, 44(1): 44-50
- 坪田瑛・高橋輝男, 2021. 2021 年の東鉢伏高原における注目すべき蛾類について. きべりはむし, 44(2): 18-24.
- 宇野宏樹, 2021. 武田尾溪谷及びその周辺で得られた興味深い昆虫類. きべりはむし, 44(2): 9-14
- YAMKEN の明石の蛾達, ヨシノクルマコヤガ, <http://yamken.jp/yamhp3/yosinokurumakoyaga.html> (参照 2022 年 1 月 28 日).
- 八木剛, 1998. 六甲山系布引公園および鉢伏山のキリガ類相. きべりはむし, 26(2): 67-74
- 山本義丸, 1997. 兵庫県氷上地方の蛾類 (2). きべりはむし, 25(1): 11-22.
- 山本義丸・和田文雄, 1950. シンジュコケガ本州に分布. 新昆虫, 3(4): 45-46.

⁽¹⁾ 相生市, たつの市, 赤穂市, 宍粟市, 太子町, 上郡町, 佐用町の 7 市町. ただし赤穂市及び太子町では実施できなかった.

⁽²⁾ 健康維持活動を兼ね, 新型コロナウイルス感染対策を取って実施したが, 調査中他者に近接することは無かった.



図 1. ウスベトガリバ
2021.3.19 採集



図 2. トガリスジグロエダシャク
2021.6.20 撮影



図 3. マエモンオオナミシャク
2021.12.6 採集



図 4. メンガタズメ
2021.7.26 撮影



図 5. フリツェホウジャク
2021.7.2 撮影



図 6. ツクシアオリンガ
2021.6.28 採集



図 7. シンジュキノカワガ
2021.8.22 採集



図 8. ヨシノクルマコヤガ
2021.6.25 撮影



図 9. シーモンアツバ
2021.4.24 採集



図 10. サマキリガ
2021.12.7 採集



図 11. ムラサキミツボシキリガ
2021.10.30 採集



図 12. ドロキリガ
2021.10.2 撮影



図 13. カギモンキリガ
2021.4.13 採集



図 14. ハイロクメヨトウ
2021.8.2 採集

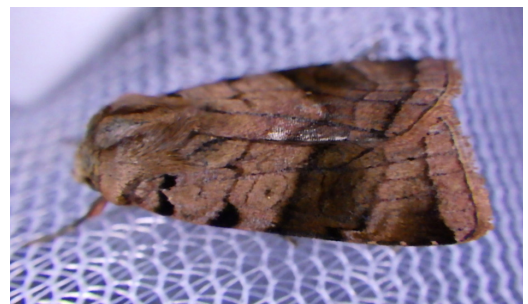


図 15. ウスアカヤガ
2021.9.13 撮影